



アジア新時代を創造する福岡県をつくる

福岡県知事 麻生 渡

本県経済は回復に向かっていますが、依然、厳しい雇用情勢が続いています。平成二十二年度予算では、雇用・景気対策に総力を挙げるとともに、アジア新時代を創造する新たな施策に重点的に取り組み、安心と希望の社会づくりを進めることとしています。

雇用・景気対策を進める

雇用は県民生活の最も重要な基礎であります。若者、中高年、子育て中の女性など年代や生活状況に応じた専用窓口を設け、きめ細かな就職支援を行います。

また、人手不足や新たな雇用が見込まれる「農業」「福祉・介護」「安全・保安」「新生活産業分野」への人材移転、情報技術者や介護福祉士など就職に結びつく職業訓練を充実します。

県内雇用の八割を担う中小企業に対しては、金融経営支援、新しい製品やサービスの開発支援、プレミアム付き地域商品券の発行による販路拡大など、積極的な支援を行います。

農林水産業については、ラーメン用小麦「ラー麦」や白菊「雪姫」などブランド力を生かした販路の拡大、高収益型園芸農業の振興、安全で高品質の農産物の輸出促進など攻めの産業づくりを進めます。

来年三月には九州新幹線鹿児島ルートが全線開通します。博多駅が全面改築され、新たに久留米、筑後船小屋、新大牟田の三つの駅が設置されます。定住人口や交流人口の大幅な増加を目指し、働きやすく住みやすい魅力的な地域づくりを進めます。

県民生活の利便性と将来の地域の発展力を高める社会資本の整備については、厳しい財政状況の中でも県単独公共事業予算を大幅に増やし、景気・雇用を下支えします。

アジアの成長拠点を目指す

本県が将来にわたり発展、繁栄していくためには、アジア諸国と多様な交流を進め、そのエネルギーを積極的に取り入れる必要があります。

次世代自動車の開発拠点、先端システムLSIの設計、試作、評価を一貫して支援する開発拠点、世界を先導する水素エネルギー開発拠点など、アジアのイノベーション・先端成長産業の拠点づくりを進めます。また、アジアの中小企業やベンチャー企業が集うビジネス拠点、アジアの環境問題の解決に貢献する環境協力拠点、アジア各国から人々が訪れる高度医療・健康拠点、アニメ、ポップミュージック、ファッション、美容などアジアの若者文化の拠点づくりを進めます。

さらに、アジアの拠点空港を目指す福岡空港の滑走路増設、物流ハブ空港を目指す北九州空港の滑走路の三千m延伸など、アジアとの交流を支える先進社会資本の拠点づくりに取り組みます。

こうした取組みにより、アジア新時代を創造し、我が国の成長拠点モデルとなることを目指します。

新しい共助社会をつくる

多様化する公的ニーズに対応するためには、互いに支え合い助け合う共助社会をつくる必要があります。

共助社会の重要な担い手であるNPOやボランティアの健全な発展を支援するとともに、企業、行政との協働を積極的に進めます。

子育て家庭に優しいサービスを提供する「子育て応援の店」は二万店舗、従業員の仕事と育児の両立を支援する「子育て応援宣言企業」は五千社の登録を目指すなど、

子育て応援社会づくりを進めます。また、自らの知識や経験を生かし、働きたいと希望する高齢者が活躍できる新しい社会づくりを進めます。

安全安心な社会をつくる

がんや肝疾患の治療拠点病院の整備、救急医療体制の強化など安心して医療サービスが受けられる体制づくりを進めます。

また、千五百を超える地域防犯団体に対する支援、女性や子供を守る活動に参加する企業や団体に対する支援など安全安心まちづくりを進めます。

本県は、全国に例のない「暴力団排除条例」を制定し、四月一日から施行しました。県の事務や公共事業からの徹底した暴力団の排除、あらゆる法令を駆使した捜査、取締りの強化、県民、警察、行政一丸となった活動などにより、暴力団の撲滅に取り組みます。

教育力向上と文化振興を進める

家庭や地域が中心となって取り組む「青少年アンビシャス運動」と、学校が中心となって取り組む「教育力向上県民運動」とを車の両輪とし、志を持ったたくましい子供を育てます。

また、全国学力・学習状況調査を県内すべての小・中学校で実施し、学力向上に取り組みます。

世界文化遺産暫定リストに記載された「宗像・沖ノ島と関連遺産群」と「九州・山口の近代化産業遺産群」については、早期に世界文化遺産に登録されるよう、官民一体となった取組みを進めます。

我々には大きな可能性があります。古い殻を破り、新機軸を立て、前向きに打って出る県政を展開します。